



保護者の方へ・「IBディプロマプログラム」とは

国際バカロレア機構が提供するディプロマプログラム（DP）は、16～19歳の生徒が大学やその他の高等教育機関に備えるための、2年間の国際教育プログラムです。その中で生徒は、創造的に問題を解決し、生涯にわたって自分自身で考えることを学び、急速に変化しグローバル化を続ける社会で成功する準備を整えます。

DPは、指導と学習に対する全人的なプログラムであり、多様な文化に対して意識を高めることを特に重視しています。生徒は、探究、クリティカルシンキング批判的思考、開かれた心により、自分たちの周囲の世界を深く知り、理解することを学びます。

バランスの取れたカリキュラムとユニークな3つの必修要素

DPの生徒は、6教科から成るコースを履修し、幅広く、なおかつ掘り下げた知識と理解を身につけます。生徒は、多様な科目に取り組み、包括的な教育の中で異なる学術分野の間につながりを見出すよう奨励されます。第二言語の学習に加え、プログラムの核「コア」である以下の3つの必修要素も履修する必要があります。

知の理論（TOK）：生徒は「知識の本質」、自分が何かを「知っている」と主張するときに、なぜそれを知っているとわかるのかを考察します。

課題論文（EE）：大学入学に備え、自分の興味のある分野で自主的に研究し論文にまとめることで、生徒は独立した研究の必要性とやりがいを知ります。

創造性・活動・奉仕（CAS）：生徒は、奉仕活動やスポーツなど、多様な課外活動に取り組み、経験に基づいて学習します。

大学とその後発揮される高度な能力

DPは、すべての生徒の大学入学と大学での学習をサポートするよう入念に設計されています。また、私立、公立、インターナショナルスクールを問わず、世界中の多くの学校で提供されています。

DPを履修した生徒は、大学以降の生活にも十分に順応し、積極的に参加し、成功を収めるための十分な能力を備えて高校を卒業します。卒業時には、分析、記述、コミュニケーション、発表のスキルを身につけ、研究を経験し、卓越した調整と時間管理の能力、複数の観点からトピックを見つめる能力、学術的概念の深い理解を身につけます。このことは、生徒がどの大学を進学先を選ぶとも、そこで優秀な成績を収めるための強固な基盤となります。

IBの試験は、さまざまな国際的評価方法から最良の手法を組み合わせることによって構成しており、DPのカリキュラムを修了し、この試験で優秀な結果を出しディプロマを授与された生徒たちは、個人の状況にかかわらず世界中の大学で優秀な成績を収めます。DPのカリキュラムはそれほど難易度の高いものだということです。

「IBディプロマプログラム（DP）を通じて、私の息子が最も変わった点は、自分には決してできないと思っていたこともできるのだと認識したことだと思います。これによって彼の考え方の幅が広がりました……保護者は、IBが価値を認めるさまざまな面で子どもの成長を見ることができます。」—米国のIB生徒の保護者

IBディプロマプログラムを選ぶ理由

子どもに最良の教育を与えたいと考える保護者がDPを選ぶ理由は、以下のとおりです。

チャレンジに満ちた学習カリキュラム：大学や他の高等教育に向けて十分な準備を整えます。

生徒を中心としたアプローチ：単なる受験準備ではなく、生徒の知的、感情的、身体的、社会的発達を重視した指導を行います。

国際的な視野を重視：文化の違いに対する共感と理解を深めます。

高評価、信頼性、世界的に有名：高等教育に対する準備が非常に良くできているという点で、多くの大学が常にDP修了生をトップに挙げています。

大学におけるDP卒業生の優秀な成績：大学で単位認定（履修免除）を受けられる場合も多くあります。

DP評価の強み

IBは、生徒に意味のある課題を与え、記憶力だけではなく、科目の理解を実証させるために、関連づけられた思考力をテストすることに力を入れています。IBは、大学や就職への合格基準として試験結果の重要性を認識しており、IBのそれは長年にわたって世界水準としての価値と意味を維持しています。評価に対して伝統的なアプローチを貫くIBディプロマは、さまざまな試験や内部評価によって、すべての生徒にそれぞれの強みを評価される機会を与え、それを単位認定に繋げています。

グローバル世界におけるDPコミュニティ

現在までに、世界で120万人の生徒がDPを卒業しました。IBの生徒は、多様な経験と観点をもち、147カ国のIBワールドスクール（IB認定校）で学習し、その国籍はさらに多岐にわたります。

「私は、IBの精神と厳しさが大好きでした。自分で考えることを重視し、各教科に均等に価値を置く方針によって、オールラウンドな考え方ができるようになったのが、私にとっては最も価値のあることでした。」—英国のIBディプロマプログラム卒業生

147カ国のIBワールドスクール

右の地図ではIBワールドスクールのある国が青く表示されています。



大学入学

地理的、文化的、言語的にも実にさまざまな学校、そして生徒たちに対してDPのカリキュラムは提供されています。世界中の大学が、IB修了生を卒業高校の所在地や、個人的な背景にかかわらず、質の高い一貫した教育を受けた生徒であると判断できるのはこのためです。

英国の高等教育統計局 (HESA) の調査では、IB修了生は、*Aレベルおよび同等の資格をもつその他の生徒グループに比べ、英国の高等教育機関 (HEI) の上位20校に入学する確率が高いと結論づけられました。

また、優等学位や優等賞を受ける、に大学卒業後も勉強を続ける、さらに大学院レベルや給与の高い職業に就くなどの率もIB修了生が上回っていました。

シカゴ大学による調査、[Chicago Postsecondary Transition Project](#) は、IBプログラムが中等教育後の成績に与えた影響と卒業生の体験を調査しました。DP修了生は、類似した環境の他の生徒と比べ、大学に入学する率が高いだけでなく、入学の難しい大学に入り、中退せず、在学中を通じて良い成績を収める率も高くなっています。

この調査は、**18,075人**のシカゴ公立学校 (CPS) 卒業生を対象としました。彼らは、DPプログラムを提供する市内の**12の高校**で学び、大半の家庭は低所得で人種も多様でした。

*Aレベル (General Certificate of Education, Advanced Level)

DP と他の資格の違いは？

Advanced Placement (単位認定：AP)

米国の [Educational Policy Improvement Center](#) (教育政策改善センター) による2015年の調査では、生徒がAPを高校で大学の単位を取得する手段と見なしているのに対し、DPは生涯にわたって学ぶ人を育てる全人的なプログラムと考えられていることがわかりました。

Aレベル (一般教育修了 上級レベル)

2012年の英国の [Ofqual Report](#) は、ディプロマプログラムにおける評価が、差別化を許容し自分で考える力と研究スキルを奨励する点、および生徒に高次の思考スキルを実証させる点で、非常に優れていると述べています。2014年、Universities and Colleges Admissions Service (英国大学入試機関) は、新しい評価方法である [UCAS Point System](#) を開発し、IBプログラムを正式にAレベルと同値と認めました。

Australian Curriculum (オーストラリア全国統一カリキュラム：AC) と Australian Qualifications Framework (オーストラリア資格フレームワーク)

豪州の [ディーキン大学](#) が2014年に行った調査では、DPがACより優れた大学準備教育をすると多くの教師が考えていることがわかりました。DPカリキュラムの他の利点としては、実際の仕事への応用、明確なグローバル志向、多様な文化への理解の促進などが挙げられます。

Indian Central Board of Secondary Education (インド後期中等教育中央審議会) および Council for the Indian Schools Certificate Examination (インド学校認定試験協議会)

デリー大学中央教育研究所の研究者たちは、DPのカリキュラムと評価のほうが、CBSEやCISCEより包括的かつ網羅的であり、複数の観点や異なる文脈の理解を奨励し、分析、批判、評価の能力を高める可能性が高いことを明らかにしました。



International Baccalaureate®
Baccalauréat International
Bachillerato Internacional